

議長	局長	次長	主幹	主査

平成29年8月7日

養父市議会議長 様

議員氏名 政次悟 印

政務活動概要報告書

政務活動の概要を下記のとおり報告いたします。

記

1 活動月日 平成29年8月3日(木) 及び4日(金)

2 活動場所 全国市町村国際文化研修所(大津市)

3 活動者氏名 政次悟

4 活動内容

講義

- ・2025年に向けた医療介護総合確保政策について

慶應大学名誉教授 田中滋氏

- ・子どもの貧困対策について

法政大学現代社会学教授 湯浅誠氏

- ・認知症対策について

医療法人つくし会理事長 新田国夫氏

- ・災害と福祉の連携について

特定非営利法人レスキューストックヤード常務理事 浦野愛氏

議
號

29.8.-7

兵庫県議会事務局
議員登録課

議長	局長	次長	主幹	主査

別記様式

平成29年8月7日

養父市議会議長 様

養父市議会議員 政 次 悟 

研修成果報告書

(養父市議会議員研修要綱第7条の規定により、下記のとおり成果を報告します。

記

1 研修日時 平成29年8月3日（木）及び4日（金）

2 研修先 全国市町村国際文化研修所（大津市）

3 研修目的 平成29年度 第2回市町村議会議員特別セミナー受講

(4 成果（具体的に）

研修は、講義主体で次の4つの内容で実施された。今回のセミナーには全国各地の自治体から283名もの議員が参加しており、社会が直面するテーマについて実態を踏まえ将来に備えるという機会の提供であったと受け止めている。

研修テーマ及び講師

- ・2025年に向けた医療介護総合確保政策

慶應大学名誉教授 田中 滋 氏

- ・子どもの貧困対策

法政大学現代福祉学部教授 湯浅 誠 氏

- ・認知症対策

医療法人つくし会理事長 新田 国夫 氏



・災害と福祉の連携

特定非営利法人常務理事 浦野 愛 氏

先ず、田中氏の講義の中では、3つの気づきを与えていただいた。

- ① 医療・介護給付増加の要因は高齢者が死亡しなくなったことをあげられていた。
- ② 専門職、特に介護施設における職員の勤務の現状として、介護の専門職にその専門職以外の業務(例えば施設の掃除などなど)を担わせているが、看護師等の専門職はその辺りの業務には別の職員が配置されており、完全なる専門職業務が確立されていることのお話があった。
- ③ 医療と介護の連携は不可欠なものであるが、その前にある地域とのつながり、人が人として尊ばれる、会話と出会いによる尊厳と自立支援についてのお話があった。

(私も、昨今の養父市の高齢者の現状における単独、高齢夫婦世帯の増加については大きな課題であると受け止めており、社会や地域の中での孤立を防止することにより医療、介護から少しでも脱却出来るまちづくりが出来るのではないかと考えており、いただいた資料等を十分に活かしながら今後の施策提案に役立てていきたい。

次に、子どもの貧困についての湯浅氏の講義は目からウロコ、自身の受け止めが全く違っていたことを痛感させられた。子どもの貧困、私は客観的事実のみを受け止め、経済的あるいは家庭事情により子ども達に満足な食事が提供できないことだと受け止めていたが、今の貧困とは総体的貧困ということであり、格差社会やコミュニティの崩壊により発生しうるもの、子ども食堂の果たすべき役割は、単に食事を提供することのみでなく、コミュニティー、会話を通じ子ども達の悩みや夢・希望を支援する施策である事を理解した。

(2日目は、医療法人理事長 新田氏の講義であった。この中では国の施策として進められる認知症総合支援システムとして医療、介護の連携を中心にお話しされていたが、認知症年齢として個人差はあるものの年齢別では85才以上が全体の56%、性別では女性が71%を占めるということではあるが、これは女性が長生きするがうえのことであるとの説明であった。認知症についても早期発見・早期治療が必要なことに加え、こちらについても現状は地域の支援、特に会話を通じた社会参加の必要性を痛感した。

講義の締めくくりは、特定非営利法人 浦野氏の災害現場における支援のあり方の具体例や災害関連死を起こさせないためのアプローチについてお聞きした。昨今多発する自然災害、我が養父市においても決して油断の出来ない事柄であるが、こうした事例を聞くにつけ、災害弱者支援と個人情報保護という点では考えさせられ

る所が多い、市にどのような対応が出来るのか十分に検討していきたいと考えている。

今回のセミナーには北海道から沖縄まで283人の議会議員が参加し、研修終了後における懇親・懇談会でも色々な市町の方々と名刺交換させていただけた。

人口の大小はあるにしても、現状の日本は人口減少、高齢化が進んでおり、時間差はあるにしても抱える課題は全国共通のものがある。短時間の交流ではあったが、今後はこうしたつながりも大切にしながら、養父市が持続可能なまちとなれるよう種々の提案を行っていきたい。有意義な研修に参加できたことを感謝しつつ政務活動の報告とする。

(

(